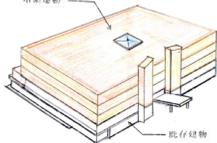
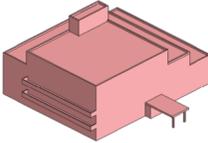
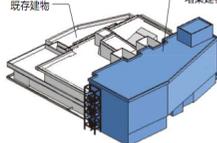
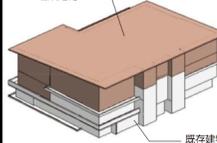
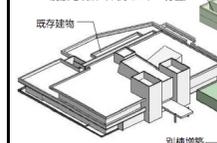
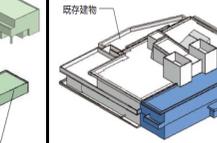


現存施設と市民提案書及びNCMの調査委託報告書内容比較

現施設		「市民の会」の提案			NCM調査委託報告書の内容				
		市民提案書	CLT木造縦増築案 (②-2-1A案)	①案・新築案	②-1案 既存改修+横増築案	②-2案 既存改修+縦増築案	③案(分散案) 既存改修+別棟増築 +別施設活用+別敷地改築	④案(縮小案) 既存改修+横増築案 +別施設活用	
地下2階、地上2階									
			基本的に既存の部分を残したままで、木造(CLT)による縦増築(既存部分に3階を増設→地下2階、地上5階)。主に地下1階～2階は図書館、増設する3～5階を公民館	地下1階、地上4階	既存部分: 地下2階、地上2階 横増築部分: 地上4階	既存部分: 地下2階、地上2階 縦増築部分: 地下1階、地上4階	既存部分: 地下2階、地上2階 別棟増築: 食堂前空地利用 別施設活用: 市役所・食堂&文化財倉庫&市民活動支援センターの一部 別敷地改築: 駄倉地区センター改築の一部	既存部分: 地下2階、地上2階 横増築部分: 地上2階 別施設活用: 市役所・食堂&文化財倉庫	
床面積 (㎡)	公民館の床面積(現敷地)	1,374㎡	2,205㎡	2,657㎡	2,256㎡	2,310㎡	2,313㎡	1,158㎡	1,696㎡
	(別棟)							128㎡	
	分室(駄倉地区センター)							471㎡	
	高架下(市民活動支援センター)							79㎡	
	(市役所食堂)							289㎡	289㎡
	図書館の床面積	728㎡	2,612㎡	2,731㎡	2,569㎡	2,065㎡	2,431㎡	1,351㎡	1,305㎡
	共用部の床面積	1,500㎡	1,500㎡	1,554㎡	1,498㎡	1,846㎡	1,681㎡	1,418㎡	1,371㎡
	郷土資料室(③・④は文化財倉庫)	70㎡	70㎡	81㎡	63㎡	80㎡	71㎡	65㎡	65㎡
合計	3,672㎡	6,387㎡	7,023㎡	6,386㎡	6,301㎡	6,496㎡	4,959㎡	4,726㎡	
広場	広場面積	2,200㎡	2,200㎡	2,030㎡	1,230㎡	2,200㎡	2,200㎡	2,200㎡	1,570㎡
工費	建屋工事費・広場工事費・設計費等		市民の会試算 20億円	39億2千万円	25億7千万円	37億7千万円	20億1千万円	17億5千万円	
工事期間			市民の会試算 10ヶ月	31ヶ月	15ヶ月	40ヶ月	17ヶ月	12ヶ月	
課題	●狭い		●既存部分の構造計算書がないので概算となるが、専門家が既存部分の上に3階を加えた縦増築案の構造計算(保有水平耐力)を行い、十分に安全性を確保できる(基準を満たす)ことが確認されている。	●なぜ木造での新築を考えなかったのか。	●広場が大変狭くなり、問題。現状より約15.5m広場側に出る。	●現市民センターの構造計算書が失われているため、縦増築が出来ない事を前提にした設計で、基本的には新たに基礎を設けて、そこに柱を建て木造増築部分の荷重をそれに持たせるやり方。形だけの「縦増築」。	●市民提案書を満たした設計からは程遠い。総面積で1,400㎡(食堂スペースを除けば1,700㎡)狭い。図書館専用部は約半分、蔵書数は約71%に縮小。	●市民提案書の趣旨が活かされていない。総面積で1,600㎡(食堂スペースを除けば1,900㎡)狭い。図書館専用部は約半分、蔵書数は約67%に縮小。	
	●老朽化	●図書館部分も公民館部分も使い勝手が悪い。	●検討を要するが、既存部分を使いながらの増築が可能がある。	●木造(CLT)による増築部分は補助金を得られる可能性がある。	●公共施設でのこの種の建築法は少ないので、話題になり、見学者が多くなる。	●実際に縦増築の可能性があるとの指摘に答えていないし、既設部分を残すメリットもない。	●中央公民館が4ヵ所(現施設+別棟施設+別敷地施設+別施設)に分散し、利便性は低下。例えば多目的室は狭くなり、団活室と利用場所が数百メートルも離れている。	●講座室は無くなり、部屋は小さくなり、ホールを分割使用する等、実態を知らない方法で面積を縮小している。	

※維持・保全費として、日建設計マネージメント(NCM)は年約1億円を想定している。